

令和6年度 各務原市立川島小学校 学校経営の全体構想

| | | |
|---|---|---|
| <p>【学校課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇確かな学力の育成 ◇主体性、自治力の向上 ◇他を思いやる心の醸成 ◇粘り強くやり抜く力 ◇自己肯定感・自己有用感の高揚 ◇小中連携による育成 | <p>【学校の教育目標】</p> <p>明るく 楽しく 元よく 笑顔でつながる川島小</p> <p>【目指す児童の姿】</p> <p>自分から考え行動し、やり抜く子（自分からすすんで）：自立 他者を理解し、他者と協働できる子（みんなと助け合う）：共生</p> <p>【文科指定 人権教育総合推進地域】R4～6年度 自己有用感を高め、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができる人権感覚の醸成</p> | <p>【令和の日本型学校教育】 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現</p> <p>【県の方針】 「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人：自立力・共生力・創造力</p> <p>【市の方針】 「誇り・やさしさ・活力ある児童生徒」～一人一人が幸せを実感～</p> |
|---|---|---|

【育成を目指す資質・能力】 主体的に行動する力 仲間と共に協働する力 粘り強くやり抜く力

| <p>明るい笑顔 部会 ～仲間と共に動く子～</p> | <p>楽しい笑顔 部会 ～自ら学び考える子～</p> | <p>元気な笑顔 部会 ～健康で安全な生活をつくる子～</p> |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎安心して生活できる学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・自他の存在を大切にしたいさつ ・自他を認め合うよさみつけの取組 ・ボランティア50回の全員達成（人権教育） ・いじめ未然防止と教育相談の充実 ・心の教育の充実（道徳教育） ・個に応じた支援（特支教育） ◎所属感・自己有用感・成就感が味わえる学年・学級づくり <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を考えた学年・学級経営の充実 ・常に学級目標を意識した学級づくり ・児童の思い・願いを大切にしたい自己有用感を高める学級活動 ・SGEによる人間関係づくり ・ねらいを明確にした行事の取組 ◎よりよい生活を創り出す自治力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心とした創意工夫ある自治活動 ・縦割り集団活動 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「自ら学びに向かい続ける」ための授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・舞台に立てる導入のあり方 ・「なんとかできそうだ・困ったら助け合える」という安心感を生み出すための環境づくり ・「どこにいるか確認できる」終末のあり方 授業の基盤 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を大切に授業づくり（個別最適な学び） ◎効果的なタブレットの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・習熟（学習アプリ等） ・活用（提示・調査・記録・交流・まとめ・発表等） ○高学年からの教科担任制 ○小・中の教員交流 ○9年間を見通した小・中の学習指導のあり方 ◎学びに向かう学習集団の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・基盤となる学業指導（立腰姿勢・聞く・話す） ・児童が参画する学習づくり（学び委員会） ・発達段階に即した学びノートの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◎健康な体づくり <ul style="list-style-type: none"> ・感染症等への正しい理解と行動（感染症・熱中症・罹患対策） ・さわやかタイム外遊び（運動委員会） ・体育授業の工夫改善 ・食育の推進 ◎安全な学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生活目標と連動した規範意識の高揚 ・一生懸命取り組む清掃（美化委員会） ・廊下歩行（生活委員会） ・常に整頓された教育環境 ◎「自分の命を自分で守る」危険回避能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な登下校（安全教育） <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導 ・登下校指導 ・災害への対応（防災教育） <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な命を守る訓練 ・情報モラル教育（情報教育） ・SOSの出し方教育（命の教育） |

【重点活動】

- 生活目標と関連した創意工夫のある「児童会活動」と、伝統の三本柱 あ「挨拶」そ「掃除」べ「勉強」の融合
- 仲間と向かおう「かわまるスマイル」(学級) ～意図的・計画的な学年・学級経営
- 自分を伸ばそう「かわまるチャレンジ」(個)～基礎・基本の学習から学びノートへ(自立)、ボランティア50回達成(共生)

【校内研究】 自ら学びに向かい続ける児童・生徒の育成

研究内容1：「舞台に立てる」導入のあり方

研究内容2：「どこにいるか確認できる」終末のあり方

研究内容3：「なんとかできそうだ・困ったら助け合える」という安心感を生み出すための環境づくり

【目指す職員集団】

- ◎子どもを育むために、共通認識で動く職員集団
- ◎子どもの声を聴き、よさを認め、励まし、やる気を引き出す職員集団
- ◎子どもの思いに立って創意工夫し、粘り強く取り組むたくましい職員集団
- ◎ともに支え合い、補い合い、認め合い、喜び合うあたたかい職員集団

【職員研修】

「人権教育」
「いじめ事例研修」
「特別な支援を要する児童の指導」
「子どもが輝く学級経営」
「学力向上への指導改善」等

【家庭・地域・幼保中との連携】

- ・家庭：細かな連絡、ホームページ、登校の安全確保（挨拶当番）、かわまるボランティア
- ・地域：見守り隊との交流、人権教育ワークショップの配信 プロから学ぶ出前講座・授業の推進
- ・中学校：日常の授業参観交流、人権教育の協働実践、小中合同の各種会議、人的交流
- ・幼保：幼保小連絡協議会（小学校参観、保育参観）、新1年交流会